

## IoT 利活用促進ネットワーク基盤構築・実証事業（実証事業）

	質問内容	回答内容
1	IoT利活用事業における備品購入費の上限50万円は、注文単位か一品単位か。	備品購入費の上限50万円は、一品単位の単価の上限となります。一品ごとの単価が税込み50万円未満であれば、まとめて注文して合計額が50万円以上となっても補助対象経費となります。 ただし、法人税法上一体とみなされ、その合計額が50万円以上となるものについては、交付要綱に基づく取得財産等管理台帳の整備する必要があるとのことです。（一体とみなされるかどうかは個別相談）
2	複数の案件応募は可能か。	実証内容が異なれば、コンソーシアムでも単独でも複数案件の応募は可能とする。 ただし、同一内容で別のコンソーシアムや単独での応募は認めないものとする。 例えば、海ぶどう養殖に関する実証で、 ・A社+B社のコンソとC社+B社のような応募はNG ・A社+B社で海ぶどう養殖、C社+B社で来客情報分析、C社でレンタカー移動情報分析等は問題なし

## 沖縄アジアITビジネス創出促進事業

	質問内容	回答内容
1	他産業連携クラウド環境促進部門において、県内のデータセンターを活用することとなっているが、県内データセンターではAIサービスを実施していない。AWS等のAIサービスを活用したい場合はどのようにすればよいか。	県内データセンターを活用してクラウドサービスを創出することが前提となります。県内データセンターでクラウドサービスを実施し、その分析等にAWS等のAIサービスを活用することは可能です。
2	人件費での健保等級単価は平成31年度分か？また、算定の記入例を頂けけないか？	平成31年度分とする。算定の記入例については事前相談での説明とする。

## IT活用ビジネスモデル・テストベッド構築支援事業

	質問内容	回答内容
1	テストベッド事業で利用するサーバーのデータセンター要件はあるか？	なし。県内データセンターは他産業連携クラウドのみの要件となる。
2	事業イメージの3社の関連性について例示いただきたい	例えば、他産業が農業の案件であれば、農業の実施者がテストフィールドとなる。テストフィールド提供者がコンソ内に存在することが好ましい。
3	納品物のソースコードは外部公開はされないのか？	外部公開は行われぬ。納品物として沖縄県町での保管となる。
4	海外企業とのコンソは問題ないか？	問題ない。

5	見積もりの確度はどの程度のものが必要か？例えば、旅費や専門家の謝金は標準的なものとすべきか？	旅行会社からの見積には角印付が出るのでそれを提出していただきたい。 謝金に関しては、自社に規定がない場合は、沖縄県庁の標準と合わせていただくことになる。 備品・消耗品等の物品の購入はWeb画面ハードコピーで問題ないが最低限として、本体+消費税が分かるものとなる。
6	健保等級単価による人件費見積りは、要員ごとの算出となるのか？	はい。賞与の回数によって単価が異なるので、ご注意ください。
7	補助期間終了後も使用する資産を購入する場合、補助対象となるのか？	補助期間後も使用する物品については原則リースにしていたいただきたい。補助対象期間内（2020年2月28日まで）の経費計上となる、それ以降は、自己資金での対応になる。 物品の購入については物により可・不可が異なるため、事前相談で詳細を確認していただきたい
8	応募書類の提出が29部という説明があったが、資料内の15部と異なっている。どちらが正しいのか？	資料の正本：1部、副本：14部の 合計15部が正しい
9	ResorTechでの成果発表は、完成版ではなくα版・β版でも可能か？	可能です。

【共通】 沖縄アジアITビジネス創出促進事業・IT活用ビジネスモデル・テストベッド構築支援事業		
	質問内容	回答内容
1	コンソを組む場合、代表がIT企業以外の県内企業で構成員が 県外IT企業という組み合わせも可能か。	可（平成29年度及び平成30年度において、同様の事例を確認済み。※代表企業が、県内旅行関連会社）